

| | | |
|------|------|--|
| 研究分野 | 受験番号 | |
| | | |

平成27年度 東京藝術大学大学院 美術研究科 建築専攻 修士課程選抜試験 [建築史]

設問1-1 図版群

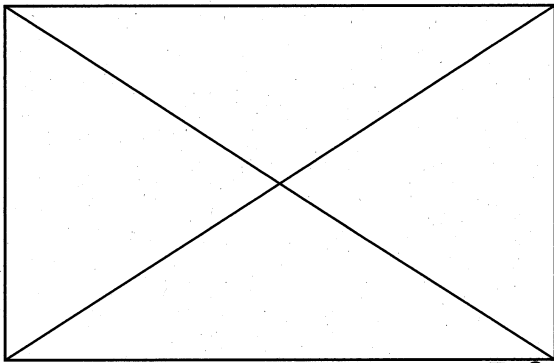


図 ①

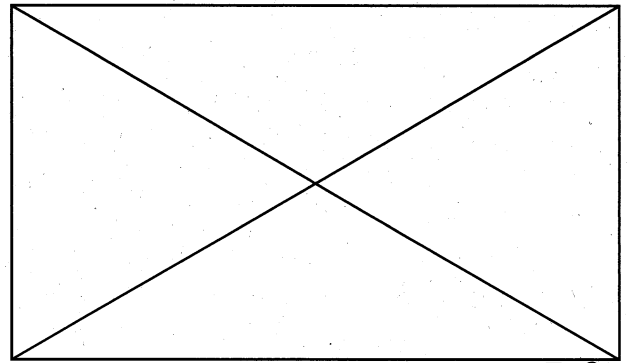


図 ②

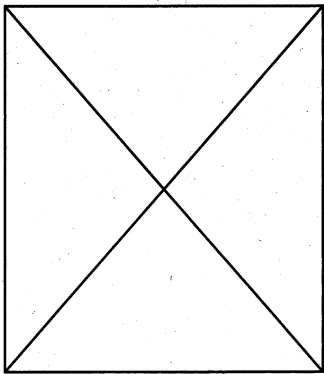


図 ③

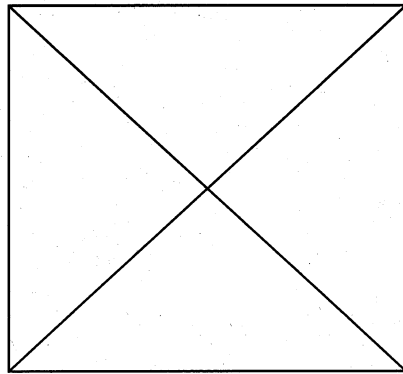


図 ④

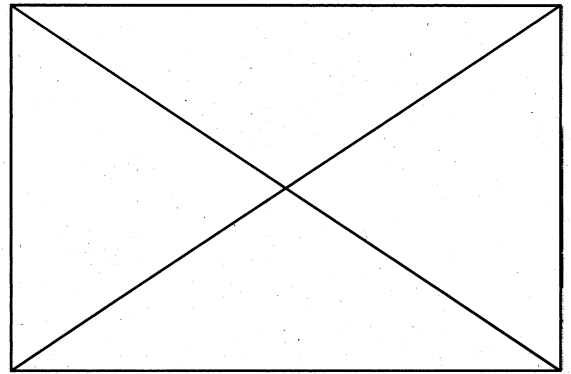


図 ⑤

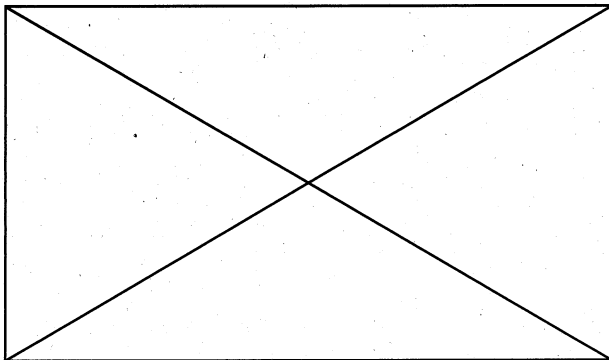


図 ⑥

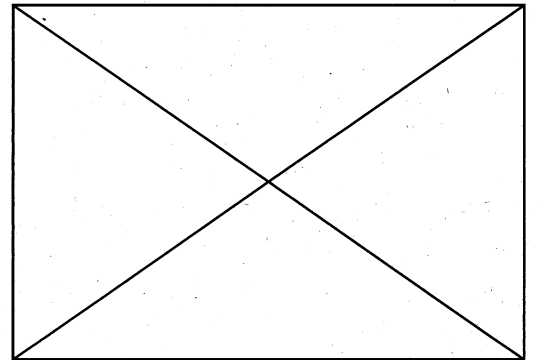


図 ⑦

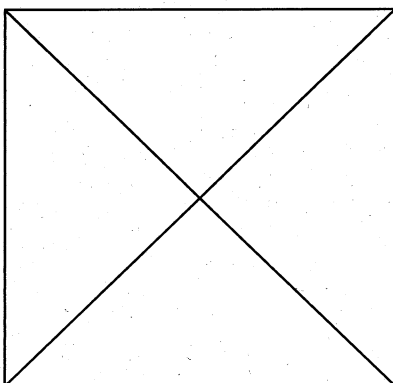


図 ⑧

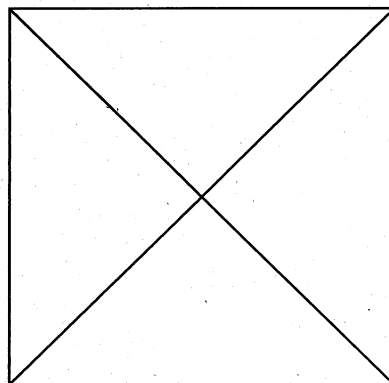


図 ⑨

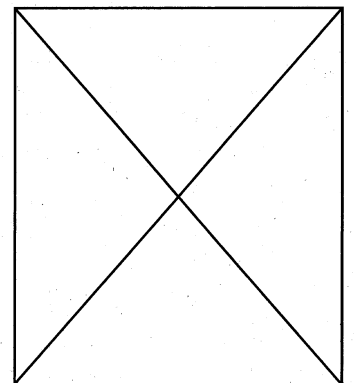


図 ⑩

設問1-1 建築名称群

浄土寺浄土堂 / 東京文化会館 / 松本城天守 / 普連土学園 / 妙喜庵待庵 / 鶴林寺本堂 / グラバー住宅
 富岡製糸場 / 西本願寺御影堂 / 円覚寺舍利殿 / 東大寺大仏殿 / 神奈川県立近代美術館 / 住吉大社本殿
 森博士の家 / 賀茂別雷神社本殿 / 前川国男自邸 / 日土小学校 / 姫路城大天守 / 長寿寺本堂 / 孤蓬庵忘筌

| 研究分野 | 受験番号 | |
|------|------|--|
| | | |

平成27年度 東京藝術大学大学院 美術研究科 建築専攻 修士課程選抜試験 [建築史]

設問2-1

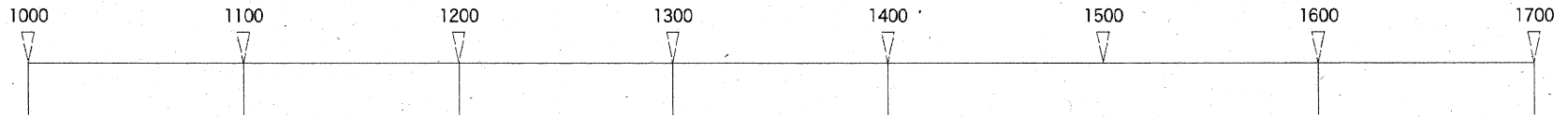
解答用紙にある、紀元後1000年から1700年までの時間軸に沿って、西洋建築史の流れを、様式と主要な建築作品をプロットすることによって示しなさい。

各建築作品には、建設年、設計・建設に関わった建築家、建設された都市（現在の名称）を付記すること。また、全体として美しく見やすい年表になるように配慮しなさい。

| | | |
|------|------|--|
| 研究分野 | 受験番号 | |
| | | |

平成27年度 東京藝術大学大学院 美術研究科 建築専攻 修士課程選抜試験 [建築史]

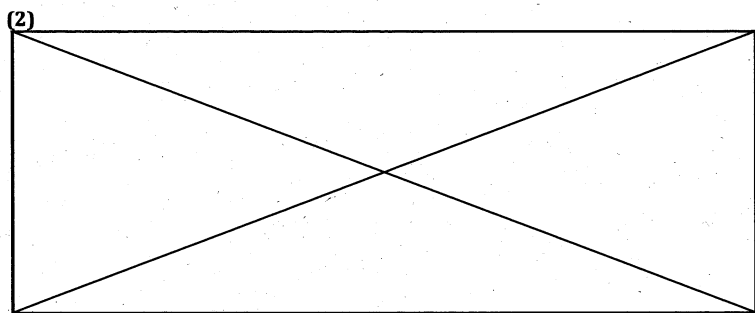
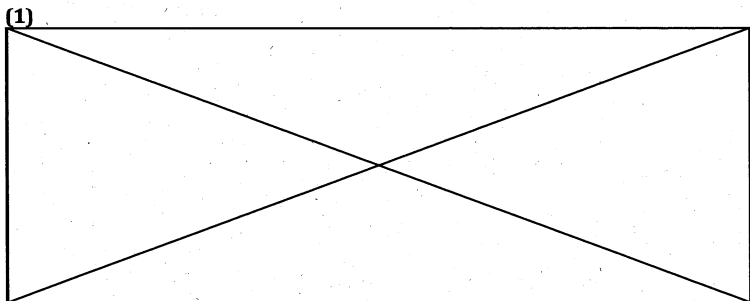
設問2-1 解答用紙



| | | |
|------|------|--|
| 研究分野 | 受験番号 | |
| | | |

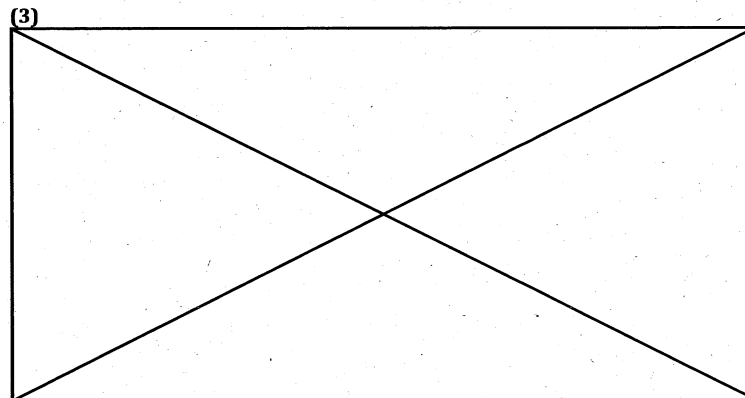
平成27年度 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [英語]

PART 1 - (1) と (2) を和訳しなさい。

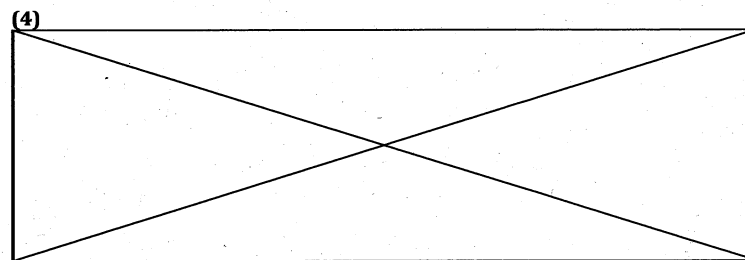


Both adapted from 'Light in Japanese Architecture' by Henry Plummer; published by A+U, June 1995, page 100

PART 2 - (3) と (4) を英訳しなさい。



Adapted from 'Nature, Material and Substance' by Professor Hiroyuki Suzuki, in JA38, Summer 2000, 'Kengo Kuma', page 10.



Adapted from 'Fragmentary Figures' by Professor Fumihiko Maki, 1989.

| | | |
|------|------|--|
| 研究分野 | 受験番号 | |
| | | |

平成27年度 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [構造力学]

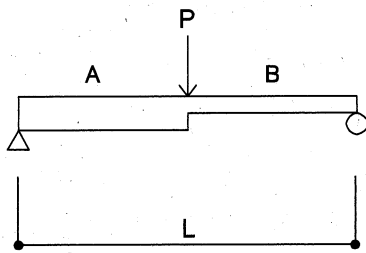
[1] 架構の応力と変形 (配点 5点 x 12)

次の図(A)、(B)、(C)に示す架構の中央に荷重Pが作用するときの、支点反力、せん断力、曲げモーメント、および変形を解答用紙に記入せよ。変形図には反曲点位置及び曲げ変形方向を明記すること。

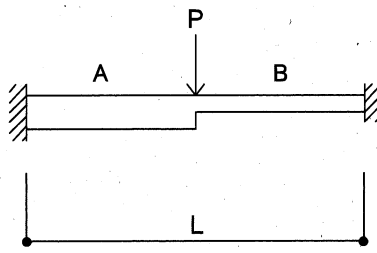
A、B断面は同じ幅で、AがBの2倍のせいがある長方形断面とし、部材の素材は同一で自重は無視できるものとする。

* 解答は、解答用紙—1に書くこと。

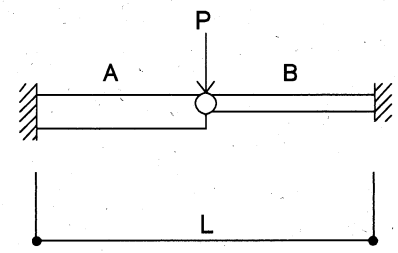
(A)



(B)



(C)



[2] 架構と構造用語 (配点 10点 x 4)

次の用語の意味を説明し、それに該当する実在する建築物を例としてあげよ。

- (a) 吊り構造、(b) 壁式構造、(c) トラス構造、(d) シェル構造

* 解答は、解答用紙—2に書くこと。

| | | |
|------|------|--|
| 研究分野 | 受験番号 | |
| | | |

平成27年度 東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [構造力学]

解答用紙—1

[1] 架構の応力と変形

(A)

(B)

(C)

反力

Q 図

M 図

変形図

| | | |
|------|------|--|
| 研究分野 | 受験番号 | |
| | | |

平成27年度 東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [構造力学]

解答用紙—2

[3] 架構と構造力学用語

用語の意味を説明し、それに該当する実在する建築物を例としてあげよ。

(a) 吊り構造

(b) 壁式構造

(c) トラス構造

(d) シェル構造

| | | |
|------|------|--|
| 研究分野 | 受験番号 | |
| | | |

【課題】 地域の消防団詰所

東京都台東区谷中・根津エリアには木造の家屋や寺、神社が密度高く存在している。そこに、地域の消防団のための詰所を設計しなさい。

【敷地】

敷地はおおむね三角形をしている。詰所は敷地の形に従う必要はなく、どのような形にしてもよいし、敷地全体を利用する必要もない。訓練塔をのぞく建物の最高高さは12mとする。

なお、敷地の三角形を構成する以下の3つの通りに面していることを考慮して設計を行うこと。

- 大通り：コンクリート造の建物を含む多様な建物が並んでいる交通量の多い通り。街路樹の高さは約10m。
- 墓地の通り：谷中の墓地に向かう通り。
- 路地：小さな木造家屋が並ぶ通り。

墓地の通りの東側には2mの塀が建っており、その向こうには墓地に付属する静かな庭園がある。庭園は本計画の2階以上からは良好に眺められるだろう。

【プログラム】

- ・詰所には消防車一台分の屋内駐車スペースが必要である。消防車の大きさは右に示したものを参考にすること。
- ・詰所には5人の消防団員が常駐する。
- ・消防団員が待機中に行う活動は以下のようなものである。
 - 何人かの団員は読書を好む
 - 何人かの団員は仮眠をとることを好む
 - 何人かの団員はコンピューターゲームやチェスなどで時間をつぶすことを好む
 - 何人かの団員は楽器の練習を好む
 - 何人かの団員は外を行き交う人や車を眺めるのを好む
 - 何人かの団員は高い所によって、火事がないかを見張ることを好む
 - 何人かの団員は一人で過ごすことを好む
 - 何人かの団員は仲間と一緒に過ごすことを好むこうした活動をふまえた上で、設計はさらに以下のような要求をみたとすこと。
- ・団員が必要な時に利用できるような小さなキッチンと食堂を計画すること。
- ・5人の消防団員と一緒にプラスバンドの音楽を奏でることがある。小さな楽器練習室を設けること。
- ・ウェイトリフティングなどの練習ができる小さなジムを設けること。
- ・高低差18mの梯子付き訓練塔を設けること。
- ・消火活動の後に利用できるようなシャワースペースを設けること。
- ・防火衣やヘルメットなどのユニフォームは緊急の際に利用しやすい位置に吊るして収納すること。
- ・延床面積は全体で約200㎡とすること。

【提出物】

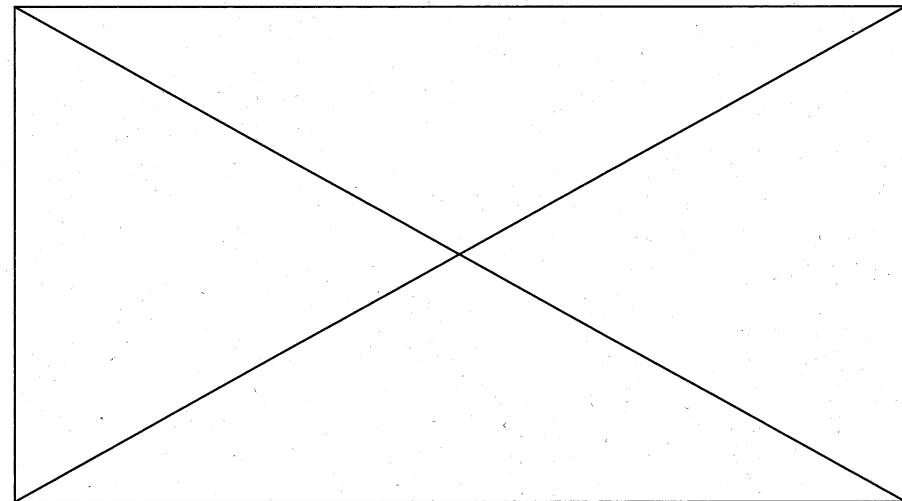
(1) 設計趣旨 (500字程度)

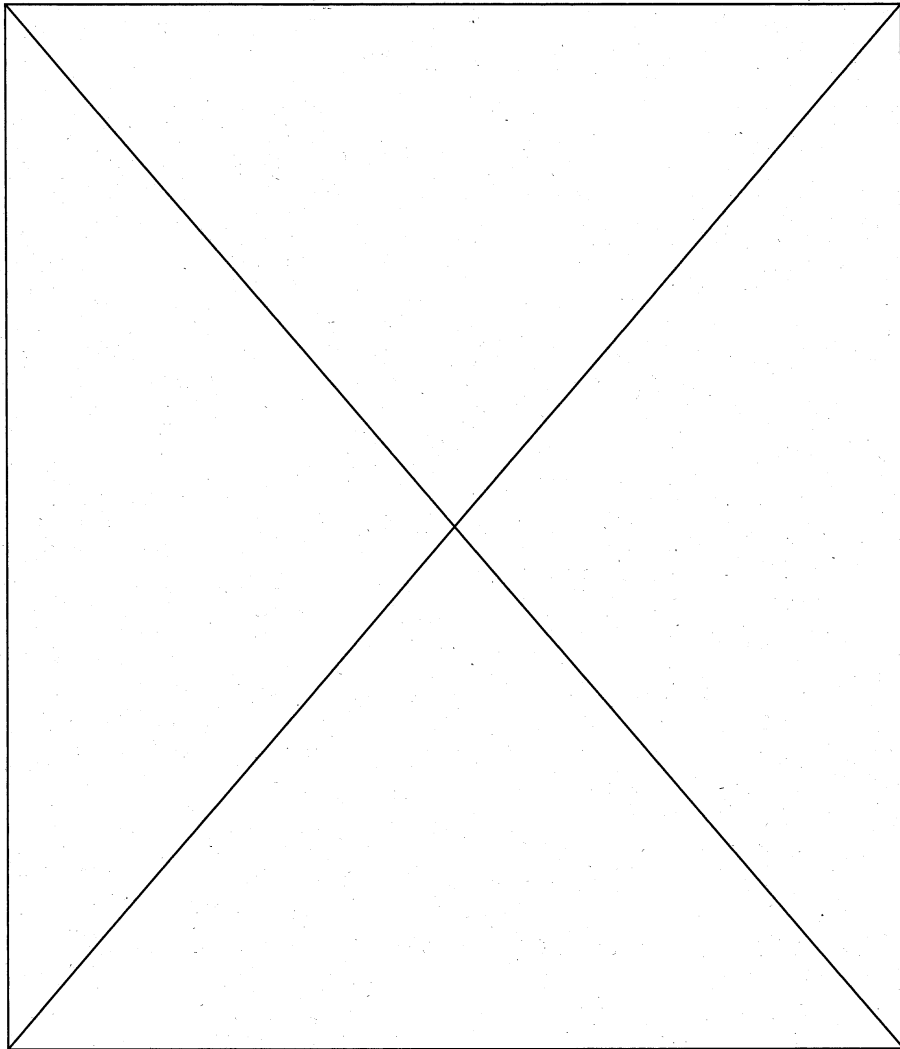
(2)

- ・配置図 (1階平面図を兼ねる) 1:50
 - ・各階平面図 1:50
 - ・断面図 1:50
 - ・立面図 1:50
 - ・デザインを説明するためのダイアグラムなど (スケール等は自由)
 - ・内観パース
 - ・外観パース
- 以上をA1版ケント紙2枚以内にまとめる。縦使い自由。着色自由。

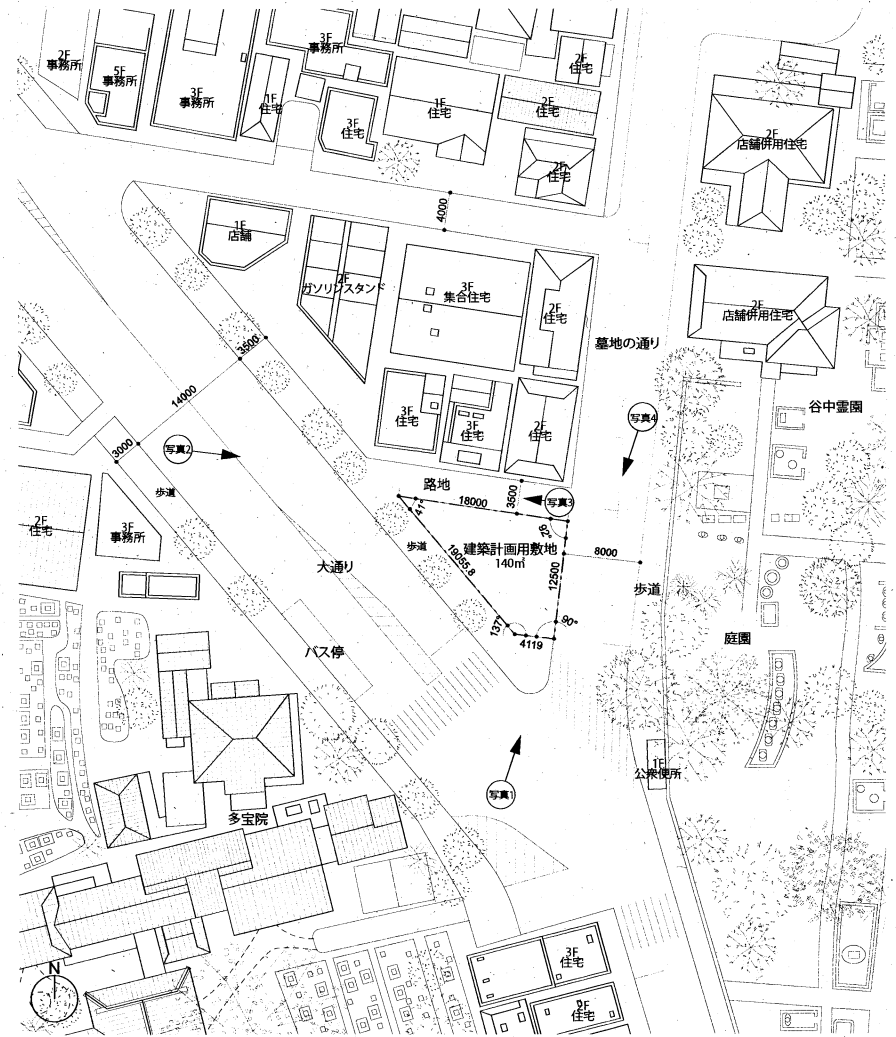
(3)

- ・エスキス時のスケッチ





敷地周辺の様子 (縮尺約 1/2500)



敷地図 (縮尺 1/500)

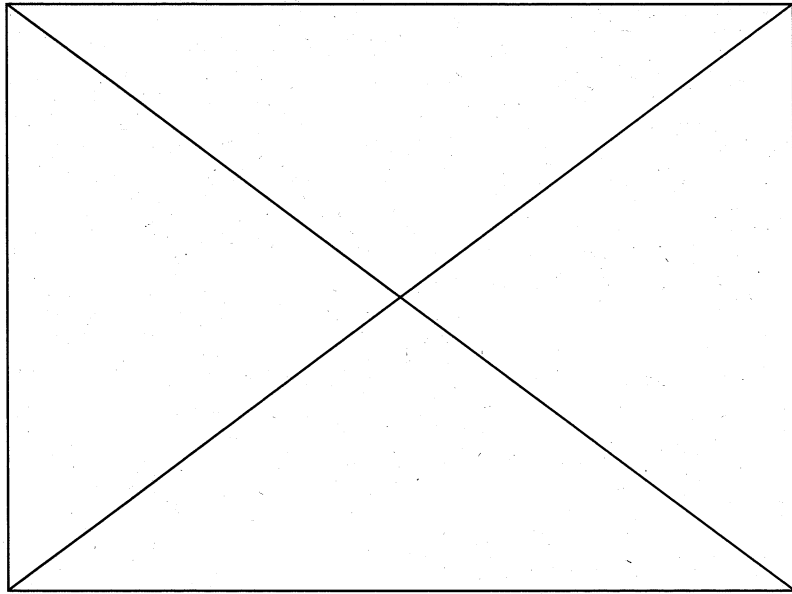


写真1

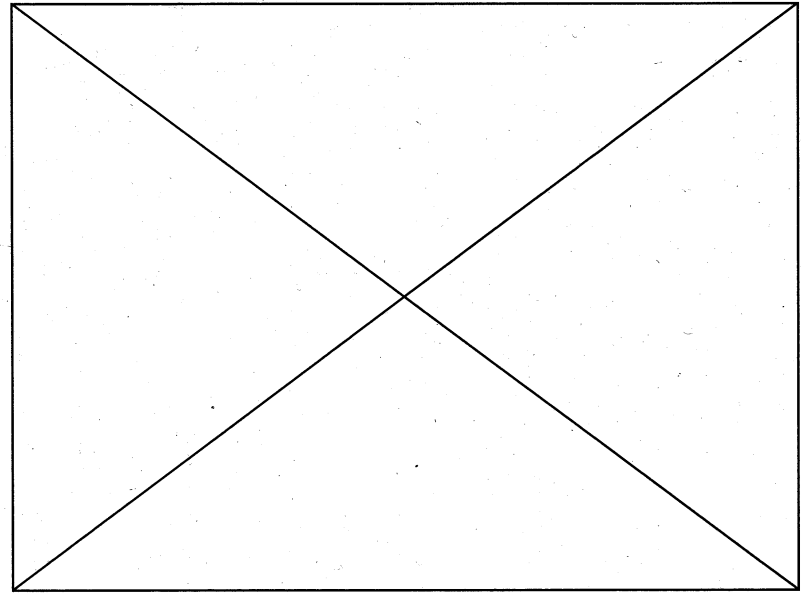


写真2

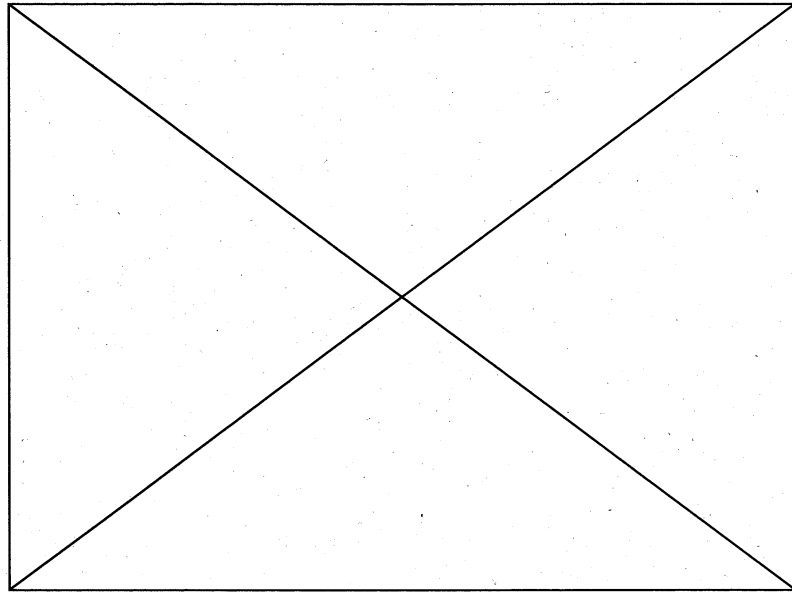


写真3

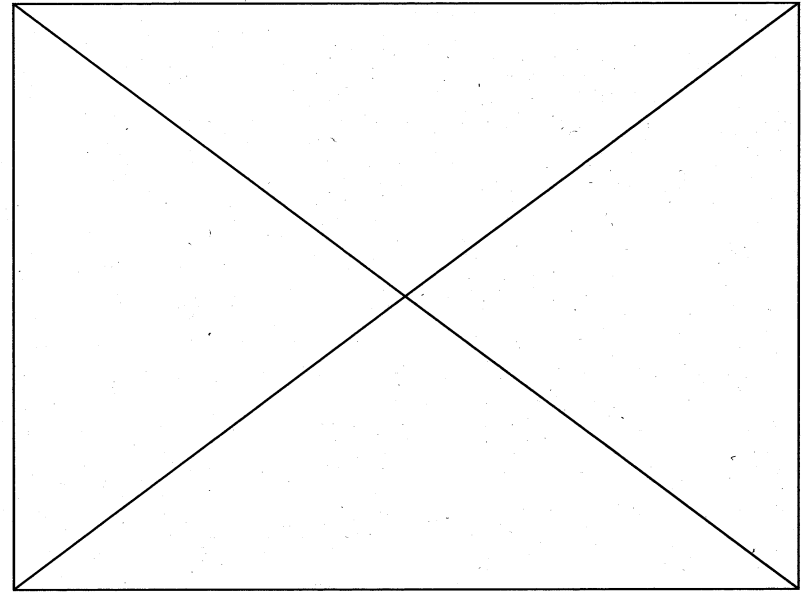


写真4